



# 令和2年度 重安小グランドデザイン

## 学校の教育目標

ふるさと重安を愛し、感謝の心をもって  
地域をよりよくしていく児童を家庭・地域とともに育てる

◆山口県の教育目標  
「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」  
◆美祿市学校教育基本方針  
「ひとが育ち 人が輝く」

## めざす学校像

子どもも大人も  
力を合わせて  
しあわせをつくる学校  
**日本一しあわせな学校**  
(そこにあるしあわせを掘り起こす)

## めざす児童像

**知 よくまなぶ子**  
・学びをつなぐ子ども・学習の目的と学んだ価値を語る子ども  
・地域に貢献できる子ども  
**徳 やさしい子**  
自分自身そして他者、地域の良さに気づく子ども  
命を大切にし、身近な人への感謝を忘れない子ども  
**体 つよい子**  
たくましい心と体でがんばりがきく子ども

## めざす教職員像

- 学びをつなぐ授業づくりができる教員
- 学習の目的と学んだ価値を児童に問うことのできる教職員
- 命を尊び、身近な人への感謝を忘れない児童の育成を常に心がけている教職員
- 人生において自分が求めている能力を絶えず伸ばしている教職員
- 「ことば」と「聞く」ことを大切にする教職員

## 学校経営の基本姿勢

生活科・総合的な学習の時間を基盤とし、学びのつながりを意識する。

◆身の回りに生じる様々な問題に自ら立ち向かい、その解決に向けて異なる多様な他者と協働して、状況に応じた最適な解決方法を探り出す力をもった人材を育てる。

### 〈低学年〉

・身近な人々、社会及び自然との関わりを通して、知識(ことば)と体験とのつながり、知識と知識のつながり、知識と自分のつながりなど「気づきの質」を高める。

### 〈中学年〉

・重安のジオに焦点を当て、探検しながら情報を収集したり、整理・分析・表現したりしていく過程を通して、重安地域に誇りと愛情をもつことができる。

### 〈高学年〉

・重安をよりよくしていくため、一人ひとりがどんなことができるのかを検討を重ねる中で、地域づくりを進める。子どもでも大きな力になることに気付くようにする。人々の生き方にふれたり地域貢献をしたりしながら自己の生き方を考える。

## 本年度の重点目標～「学びのつながり」を意識した教育～

学校課題 ○自己肯定感○学力(国語) ○メディアとの関わり  
○新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応

### 子どもも大人も力を合わせてしあわせをつくる学校

重安小コミスクやおおみねットを活用し、地域学習やジオパーク学習を通して、実社会・生活とのつながりを深める。その中で、児童のふるさとへの愛情、周囲の方々への感謝の気持ち、自己肯定感を高めていく。

### よくまなぶ子

「学びのつながり」(特に国語科と生活科・総合的な学習の時間)を大切に、「知識・技能」が社会や生活の中で生きて働くことができるようにする。

### やさしい子・つよい子

・本物との出会いを体験を通して、人間力の向上を図る。  
・自分自身そして他者、地域のよさに気付くようにする。  
・メディア(テレビやゲーム等)との上手なかかわり方を意識させる。  
・免疫力をつけるため、「早寝・早起き・朝ご飯」(基本的な生活習慣)・「こまめな手洗い」を徹底させる。

## 研究主題

自己肯定感の育成 ～生活科・総合的な学習の時間、国語科における言葉の力の向上を通して～

## チャレンジ目標

しっかり聴く げん気にあいさつ やさしい声かけ すてきな仲間

## 【教育活動推進上の努力点】

### 〈子どもも大人も力を合わせてしあわせをつくる学校〉

- 生活科・総合的な学習の時間を核にして、カリキュラムデザインをする。「学校・地域連携カリキュラム」を更新していくことによって、教育活動に必要な人的・物的資源を地域等の外部の資源を含めて力を借り教育効果を高める。
- コミュニティ・スクール及びおおみねットの取組を推進し、児童のふるさとへの愛情や自己肯定感を醸成させる。「重安しあわせ学校」を通して地域貢献し、大人の学びの場・つながりの場をつくる。

### 〈よくまなぶ子〉

- 生活科・総合的な学習の時間を核にして、特に国語科でつけた力とつながりながら「カリキュラムマネジメント」をしていき、「知識・技能」が社会や生活で生きて働くことができるようにする。ことばの力を高める。学力向上を図る。
- society5.0時代に向けて、タブレットの活用を積極的に行う。
- 読書好きな児童にするため、図書室へ誘う国語科にする。
- 「めあて」に対する「振り返り(校内研修では『気づき』)」の時間を必ずもつ。自分自身の声を聞き、可視化することによって、自分のよさや可能性、成長に気付くようにする。しあわせを感じる習慣をつける。

### 〈やさしい子・つよい子〉

- 人間力の向上につながるように、本物と出会う学習をカリキュラムに位置付ける。
- 学校・学級の中に、一人ひとりの居場所があり、一人ひとりの人権が尊重されるとともに、自己肯定感を実感できる学校・学級づくりをする。(「きくまほう」と「ことばのまほう」を大切に[チャレンジ目標との関連])
- メディア(テレビやゲーム等)との上手なかかわり方を通して、基本的な生活習慣を形成する。
- 学校の危機管理能力と児童の危機回避能力を高めるため、訓練と安全指導の充実を図り安全・安心の確保された学校づくりをする。(感染症「新型コロナウイルス」対策について、組織的で迅速に対応する。)